

## 2 重点教育目標

番号	重点教育目標	目標達成の時期	備		考
			人生各期にわたる教育目標番号	教育目標内容の柱	具体策等の記載ページ
1	郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。	児童期 高年齢期	1	郷土の自然や文化の愛護	22～25
2	スポーツを通して心身を鍛え、自らの健康管理ができる。	青年期	5	健康・安全の保持増進	29～30
3	個人または団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図っていくことができる。	青年期 壮年期	14	社会連帯感の育成	40～42
4	道徳的な態度を身につけ、実践することができる。	児童期 壮年期	24		51～53
5	同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない社会の実現に努める。	壮年期 高年齢期	29		57～58
6	子供の人格の基本となる望ましい性格を育てる。	壮年期	42	よき家庭人の育成	71～72
7	職業人としての自己研修にたえず努める。	青年後期 壮年期	43	よき職業人の育成	72～73
8	基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける。	児童期 青年期	52	主体的な生活態度の育成	83～86
9	ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。	乳幼児期 高年齢期	61		94～97
10	日本及び世界の国々に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。	児童期 青年期	67	国際社会に生きる日本人としての自覚	103～105